

事業所名 connect 西明石

公表日

2026年 2月 25日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備・運営	1 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	100.0%	0.0%	状況に応じて、使用している教材やスケジュール表を提示するとともに、写真等を活用し、分かりやすい情報共有に努めています。	今後も継続していきます。
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	100.0%	0.0%	利用児が増加することを見込んで、それぞれの支援員があとどのくらい担当を持てるかを半年に一度確認をしています。	訪問支援の質の向上と対応職員の拡充を図るため、内部研修を継続して行っています。
業務改善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100.0%	0.0%	ミーティングで訪問に行っていないスタッフにも情報共有を行い、目標設定や今後の支援について話し合いを行っています。	今後も継続していきます。
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	半年に1回の面談や、必要に応じて面談を行い保護者の方と情報共有や今後の方向性についてすり合わせを行っています。また、毎回の訪問支援の後HUGの連絡帳や直接振り返りを行うことで今後の意向を聞き取り次回の訪問支援に繋がるようにしています。	今後も継続していきます。
	5 従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	0.0%	ミーティングで訪問先での様子を共有し、今後の支援の方向性や取り組みについて意見交換を行っています。	今後も継続していきます。
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100.0%	16.7%	あかし療育鑑鑑の調査を受け入れ、第三者による外部評価を行っています。学校等の訪問支援においては、教育委員会が仲介に入るために応じて連絡相談を実施しています。必要に応じて他事業所とも連携を取ったり、研修等も実施しています。	園・学校等だけでなく教育委員会との丁寧な連絡・相談を行い、円滑な支援につなげています。さらに、他事業所との連携や研修の実施を通して、より質の高い支援が提供できる体制づくりに努めています。
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0%	0.0%	内部研修を実施し、職員の個の特性や性格傾向から環境調整を行ったり、外部研修を受講して訪問支援におけるポイントなどを学ぶ機会を設けたりして、訪問支援担当者の自己理解や資質向上を目指しています。	今後も継続していきます。
適切な	8 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	100.0%	0.0%	太田ステージ評価や質問-応答関係検査、新版K式発達検査2020、WISC-IV知能検査やKABC-II心理検査、家庭や学校園での様子や療育での行動観察、保護者の方からの聞き取り等、多角的な視点からアセスメントを行い、お子さまのニーズや課題を分析し支援計画を作成しています。保護者への報告や面談を通して保護者のニーズを伺い、支援計画を反映しています。	今後も継続していきます。
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%	0.0%	園や学校での様子を都度ミーティングで共有し、支援員に関わるスタッフで支援計画の会議を行いお子さまに必要と思われる支援を検討しています。	今後も継続していきます。
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	100.0%	0.0%	訪問先施設の負担にならないように留意しながら訪問支援開始前に事前会議を開催し、学校園での現状の様子を共有できるように機会を設けています。訪問支援後に毎回振り返りの時間を設けることで普段の様子や難しいと感じる点を伺い、支援計画に反映するようにしています。	今後も継続していきます。
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%	0.0%	支援に関わるスタッフで支援計画について共有、支援員の意見を反映させています。訪問支援前後に毎回支援計画に立ち返りながら行っています。	今後も継続していきます。
	12 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100.0%	0.0%	S-M社会能力検査等の心理検査や日頃のお子さまの様子の観察、保護者からの情報などを総合した上で、お子さまの状況についてアセスメントを行っています。	今後も継続していきます。

支 援 の 提 供	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0%	0.0%	3年毎に改訂されるガイドラインを事業所全体で変更点を確認、共有しています。	今後も継続していきます。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0%	0.0%	ミーティングにて毎回訪問支援担当者から内容について情報共有をすることで、支援計画に沿った支援が行われているか確認を行っています。	今後も継続していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100.0%	0.0%	支援開始前には訪問に入る際の留意点や確認を行い、訪問支援を行った後にはミーティングで共有を行い、連携できるようにしています。	今後も継続していきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100.0%	0.0%	訪問支援終了後は職員間でミーティングを行い、訪問時の様子やお子さまの課題を共有したり、個別療育の教材の検討を行ったりしています。	今後も継続していきます。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	100.0%	0.0%	訪問支援開始前に、支援方法について相談をしたり、提案をする際には訪問先施設での取り組みなどを確認して承諾を得たりしたのちに支援をするようにしています。	引き続き訪問先施設との関係性作りも大切にしながら、今後も継続していきます。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	100.0%	0.0%	園や学校での行動や様子、クラスの状況や先生の声かけなどを記録し、どういった行動や環境がお子さまにとって良い影響を与えているかを検討することに役立っています。	今後も継続していきます。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%	0.0%	訪問後にHUGアプリや直接保護者へ報告を行い、今後の支援方法について相談をしています。また、併せて訪問先にも様子を伺い、お子さまにとっての利益になるように計画の見直しを適宜行っています。	今後も継続していきます。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.0%	0.0%	訪問支援担当者は個別療育担当者が兼務をしています。事情で別の担当者が訪問支援担当者になることがあります。その場合は毎回情報共有を行い療育でのお子さまの様子を把握できるように留意しています。	今後も継続していきます。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100.0%	0.0%	保護者からの相談があり、関係機関からの了承が取れれば訪問支援以外に関係機関連携として各機関と連携をして、お子さまや保護者の支援を行っています。	今後も継続していきます。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100.0%	0.0%	保護者からのご要望に応じてfeelでの様子をまとめ、書面にて就学先へ情報共有を行っています。	今後も継続していきます。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100.0%	0.0%	事業所内での研修は勤務時間内に全ての職員が受講できるよう日程調整を行っています。また、外部研修に積極的に参加ができるように職員間で情報共有を行い、勤務時間内に受けられるようにしたり、費用の負担を法人で請け負ったりしています。	今後も継続していきます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	100.0%	0.0%	法人内で担当を決め、持ち回りで参加を行い、参加した内容について情報共有を行っています。	今後も継続していきます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%	0.0%	連絡帳でお子さまの様子や上手くいった支援方法などについて共有をしています。また、ご希望や必要に応じてカウンセリングの時間をつくりその中で情報共有を行っています。	今後も継続していきます。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100.0%	0.0%	保護者向けに学期ごとに1回、年度内計3回のペアレントトレーニングの研修をさせていただくことで将来を考えるきっかけになったり、保育所などの関係機関との話し合いの仕方などを学んだりする機会に繋がるようにしています。来年度も開催を予定しております。	今後も継続していきます。
27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%	0.0%	契約時に運営規定や利用者負担について説明を行い、変更があった際はその都度説明を行っています。	今後も継続していきます。	

保護者等への説明等	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100.0%	0.0%	事前会議を実施し、訪問支援の趣旨や目的について共通理解を持っていただけるようになっています。途中で支援方法に変更があった場合は訪問先の管理職の先生等と相談を行うようになっています。	今後も継続していきます。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%	0.0%	お子さまと保護者の方の願いや目標について聞き取る機会を設け、支援計画を作成しています。	今後も継続していきます。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100.0%	0.0%	面談の際に支援計画を示しながら説明と確認を行い、保護者から意見や要望がある場合は必要に応じて修正し修正後には同意を得てから支援するようになっています。	今後も継続していきます。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100.0%	0.0%	希望者にはカウンセリングを実施し、訪問での様子を伝えたり家庭での困りごとを聞いたりして具体的な工夫策を提案するようになっています。	今後も継続していきます。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100.0%	0.0%	保護者研修後に保護者交流会を実施したり、学期ごとにレジン制作やくすみボタン作りといった保護者向けのイベントを開催したりすることで、保護者同士の交流の機会を設けています。また、今年度も秋祭りを行い、きょうだいも参加できるイベントを開催しました。	今後も継続していきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%	0.0%	カウンセリングやプレイセラピーが必要な場合は臨床心理士や公認心理師の有資格者または受験資格のあるスタッフが対応するようにしています。ご希望があった場合はすぐに職員間で連携しながら対応しています。	今後も継続していきます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100.0%	0.0%	モニタリングの面談時に参観をされなかった保護者の方へLINE等でお子さまの写真や動画を送らせていただいております。また、定期的にブログやInstagram、Facebookで活動の概要や行事の様子を発信しております。	今後も継続していきます。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	0.0%	契約時の個人情報についてのアンケートをもとに玄関やブログの掲示を考えたり、個人情報は鍵付きの書庫に片付けたりしています。また情報提供に関しては提供して下さったご家族の方の承諾を得てから他の方にお伝えしていきます。スタッフとの雇用契約時に個人情報の秘密保持を厳守しています。	今後も継続していきます。
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	0.0%	視覚優位や聴覚優位等、得意な情報処理に合わせて文章を用いたり口頭で伝えたりするなど工夫をしてわかりやすく伝えるように留意しています。	今後も継続していきます。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100.0%	0.0%	相談があれば実際の療育教材を提示して説明したり、ご希望があれば研修などを実施したりして相談できる体制を整えています。	今後も継続していきます。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	100.0%	0.0%	訪問先の都合に合わせて振り返りも合わせて行える日で日程調整をいただき、毎回会議を行えるようになっています。	今後も継続していきます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100.0%	0.0%	訪問支援実施後に必ず、保護者のご希望に合わせて面談、HUGでの情報共有、LINE、電話等で共有を行っています。	今後も継続していきます。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	0.0%	訪問先には名前などの個人情報が記載されたものを持ち出さないことを従業員で共有したり、忘れ物などがないように留意したりしています。	今後も継続していきます。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	100.0%	0.0%	訪問先の先生に寄り添いながら、お子さまの様子や情報共有を行い、相談があった際は実行可能な方法を提案したり教材を提案したりできるようにしています。	今後も継続していきます。
42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.0%	0.0%	年単位で計画を作成して、職員訓練を行うことでマニュアルを周知するとともに対応法を訓練しています。	今後も継続していきます。	

非常時等の対応	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.0%	0.0%	重要事項について訪問担当職員に周知をしたり、訪問先に配布したりすることで意識できるようにしています。	今後も継続していきます。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%	0.0%	毎日のミーティングの中でヒヤリハットが起きていないか確認し、共有や対策を話し合う時間を設けています。ヒヤリハットが起きた場合はすぐに記録に残すことで全職員が把握できるようにしています。	今後も継続していきます。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%	0.0%	一年に一度、虐待に関して職員研修を行い、虐待に関する知識を身に付け、日々ミーティングで共有する中で職員同士で虐待にあたる対応がないか確認し合っています。	今後も継続していきます。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100.0%	0.0%	虐待防止、身体拘束についての委員会を設け一年に一度委員会を開催しています。また、必要な場合には保護者に十分な説明を実施した上で身体拘束について承諾を得ています。実際に身体拘束に至った場合は詳細を記録し、委員会等で話し合いを実施しています。	今後も継続していきます。